



～検査入院プログラムのご案内～



筋ジストロフィー患者さんご家族の皆様へ

- ✓ 筋ジストロフィーは筋肉の膜の異常により筋肉が壊れてしまう進行性の病気です。
- ✓ しかし、定期的に病気の状態を知り、症状の進行を遅らせたり合併症を予防するための治療を受けることは、安全・安心に自分らしい質の高い生活を送るために重要なポイントです。
- ✓ さらに、病気について自分自身でしっかりと把握することは、成人として自立した社会生活を送るための必要不可欠な一歩です。
- ✓ “合併症予防”と“自立支援”を目的とした検査入院プログラム“病気を知らーよ”を通して、あなたの安全な生活と自立への道をサポートします。

プログラムの内容について

対象となる方

筋ジストロフィーなど小児期発症の神経筋慢性疾患の方

検査について

<呼吸検査>

呼吸障害はゆっくり進行し自分では気づきにくいことが多い合併症です。症状がなくても定期的に夜間睡眠時の呼吸状態を測定する検査（夜間ポリソムノグラフィー）や呼吸機能検査を受けておくことで、いち早く適切な呼吸治療（マスク式人工呼吸など）を受けることができます。

<心機能検査>

心臓は全身に血液を巡らすポンプの役割があり、筋力低下の進行によって心不全になります。

症状がない段階から超音波検査や心電図検査で定期的に検査することによって、早い段階で心臓を保護するための治療を開始し、長く大事に心臓を守ることができます。

<嚥下機能検査>

食べるという行動には“噛む力”“食べ物を運ぶ力”“飲み込む力”など様々な機能が関連し、筋力低下とともに段階的にその能力が落ちてきます。嚥下造影検査は造影剤を使用して視覚的に嚥下機能を評価する検査です。検査結果を踏まえて嚥下可能な食事形態への変更や、食事方法を見直すことによって、誤嚥や窒息を起こさず安全な食事を続けることが可能になります。

※入院スケジュールの一例

	月	火	水	木	金
午前	入院 レントゲン検査 血液検査	心臓超音波検査 身体機能評価 (リハビリ)	呼吸機能検査 呼吸機能評価 (リハビリ)	心電図検査	ホルター心電図 取り外し
午後	嚥下機能評価 (リハビリ)	構音検査 (リハビリ) 嚥下造影検査	栄養チーム評価 夜間ポリソムノグラフィー	ホルター心電図 装着	退院

青：リハビリ、赤：検査



自立支援について

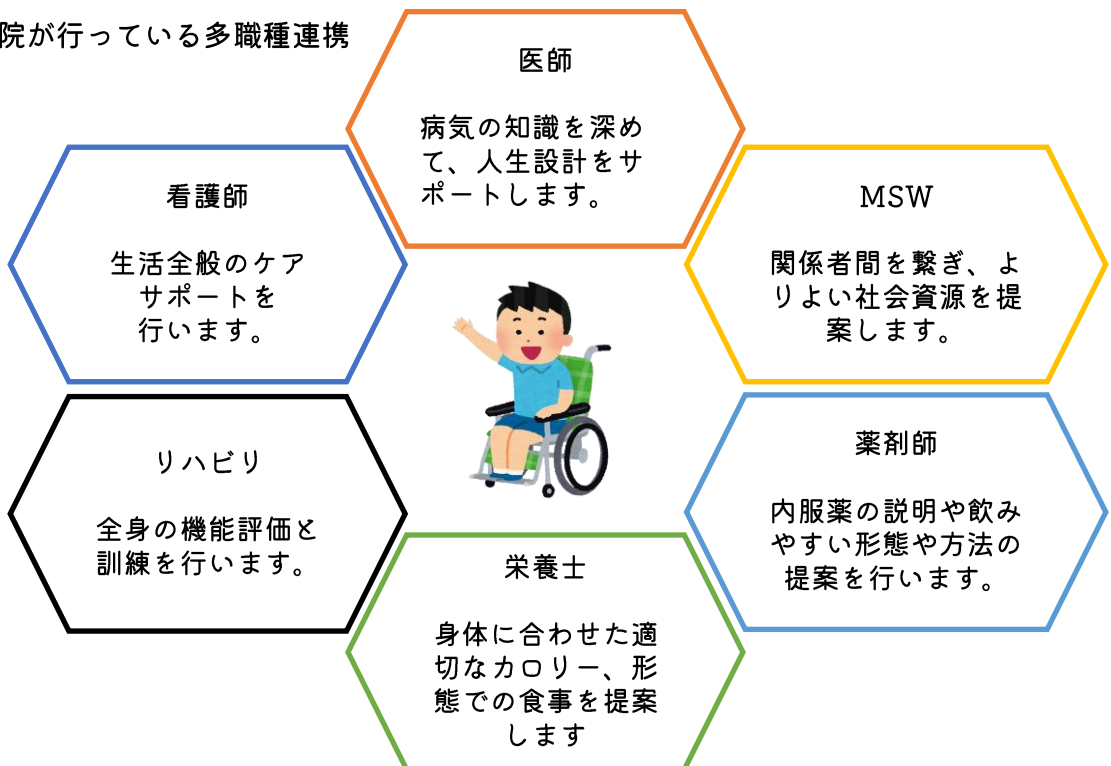
小児期発症の慢性疾患をお持ちの患者さんにとって“自立”とは、自分が今どういう状態にあるのか、何を必要としているのかを知り、意思表示ができるということです。

特に病気（合併症）の際に成人診療科では担当医の専門分野が分かれているので、自らがきちんと自分自身の病気について説明できなければ、求める医療を適切に受けることができません。

そこで重要なのが、自分の病気（合併症など）を知ることです。

高松医療センターでは、“病気を知ろーよ”で、入院・検査を通して、多職種が連携・協力しながら患者さんの状態にあった自立をサポートする体制を整えています。

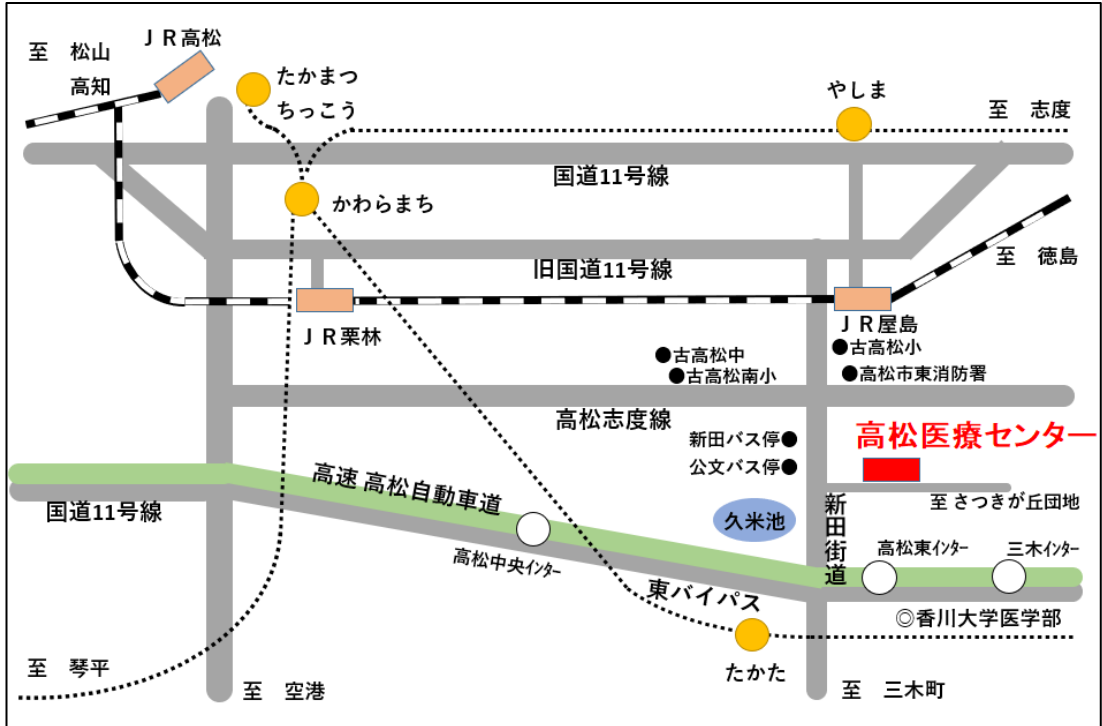
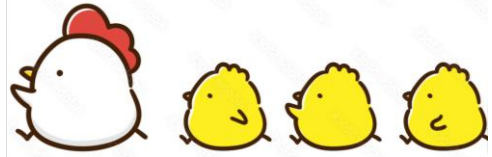
※当院が行っている多職種連携



安全・安心な生活のために
年に1回の定期検査を！

アクセス

〒761-0193
高松市新田町乙8番地



お車をご利用の方

J R屋島駅西側(馬場先)から南へ延びる新田街道の途中、信号機のある三叉路を東に上がった丘陵地にあります。駐車場は無料。

バスをご利用の方

ことでんバス『大学病院線』乗車
(起点：高松駅 終点：ことでん高田駅)
『高松医療センター』下車

問い合わせ先

高松医療センター 移行期医療支援室

TEL：087-841-2146

FAX：087-841-2178

まずは気軽に
お問い合わせください。



こちらのQRコードから当院の
ホームページをご覧いただけます

